

# 水産種苗供給所・種苗生産事業

竹 内 四 郎

## は じ め に

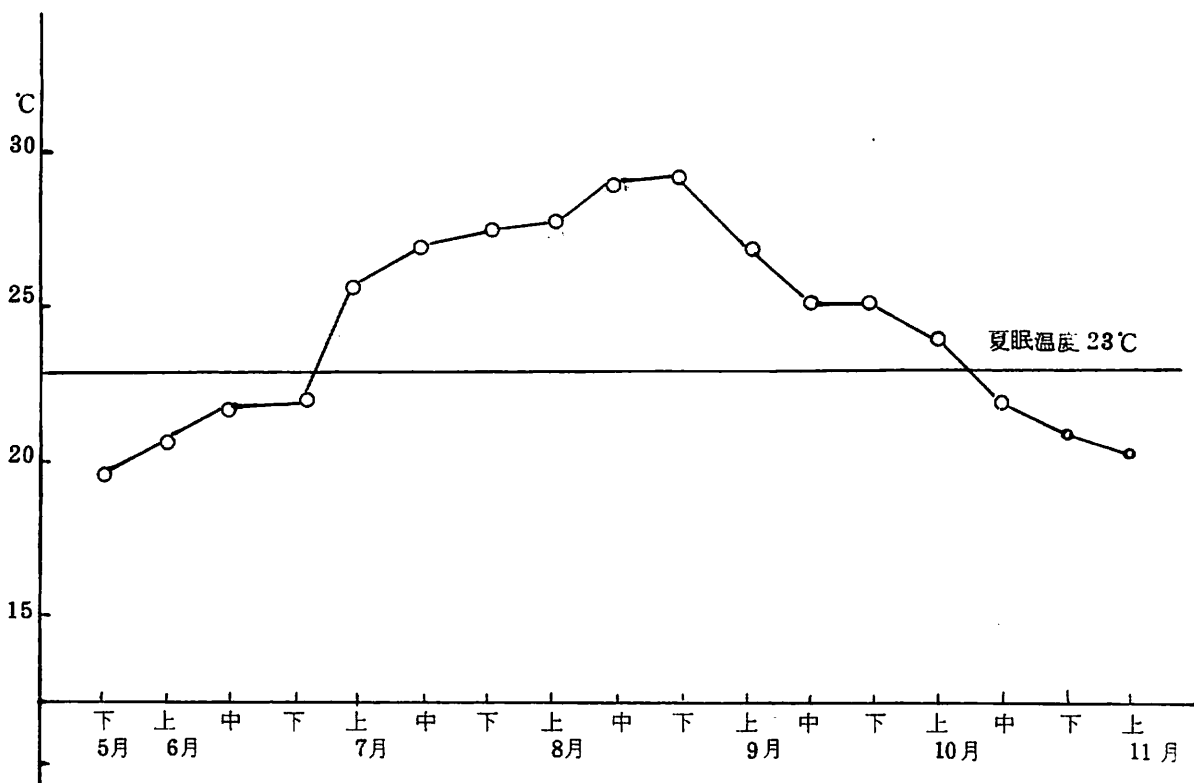
43年から引継いで、ワカメ種苗を生産し県内各地へ配付しながら、室内管理、沖出し等の芽落ち防止について、技術指導を行なった。

## 1) 事業概況

5月22日に、試験養殖中のワカメ成実葉(メカブ)250kgを採取し1晩陰干ししたものをを用いて、5月23日(水温18.4℃)、508枠分(50800m)を採苗した。所要時間は水槽に50kgあてメカブを入れ、100枠単位に15分間浸せき後メカブを取りあげ、そのまま約1時間放置して枠を他の水槽に収容した。当初1,000~4,000ルクス内外の明るさにし、6月16日に、リン酸ソーダ5万分の1硝酸カリ1万分の1の割合で施肥を行なった。途中枠の上下変更を一度おこない水温が24.7℃~25℃に上昇した7月3日より暗黒にし、100ルクス以下にした。10月5日から、水槽のおおいをとり少しあて明るくし、10月16日に枠の上下変更を行なって少量宛注水を開始し、10月23日第1回と同様の施肥をした。10月30日には第3回目の施肥を行ない、11月1日より各地へ配付を開始し、11月25日に完了した。

## 2) 結 果

本年は第1図にみられる様に、夏季水温が全般的に高目で、雨量は少なく、秋の水温降下の遅を心配したが、10月中旬頃から水温も順調に降下しはじめたので発芽も次第に良好となった。11月上旬には、大きなものは300~500ミクロンに成育し、芽胞体の出現も順調となったため、ほぼ例年どおり種苗の配付を行なうことが出来た。



第1図 水温変化状況 (旬別)

第1表 ワカメ配布状況

配 付 先	配 付 数 量
出雲地区	
美保中央	14,400 m
野波	15,550 m
野井	4,000 m
手結	3,900 m
小計	38,550 m
隠岐地区	
浦郷	5,000 m
黒木	5,200 m
小計	10,200 m
合計	48,750 m